

山形交響楽団 オーボエ四重奏

第7回 ～1500年の歴史を奏でる～

大けやき コンサート

大けやきは私達の大切なレジェンド
時代と時を経ても…

2025年

12月7日[日]

東の杜 交流館ホール

1回目 開演 13:30 (開場 13:00)

2回目 開演 14:45 (開場 14:30)

前売券／500円(当日券はありません)

[1人につき2席まで購入可] ※東の杜で直接お買い求めください。
10月29日(水)より販売いたします。

お申込み・お問合せ

大けやき未来共同事業体 東の杜

〒999-3782 山形県東根市本丸東3番1号

TEL (0237) 48-7211・FAX (0237) 48-7232



山形交響楽団 オーボエ四重奏



オーボエ 土屋 愛菜

神奈川県出身。15歳よりオーボエを始める。

2015年洗足学園音楽大学を優秀賞を受賞し卒業。同時に卒業演奏会に出演。2017年同大学大学院修士課程を修了。在学時に前田記念奨学金を受賞。洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団及び同大学演奏補助要員を経て、2023年山形交響楽団に入団。ヤマハ管楽器新人演奏会第19回木管部門に出演。ソリストとして洗足学園音楽大学大学院室内管弦楽団と協演。

これまでにオーボエを関水萌子、辻功、浦丈彦、北村貴子の各氏に師事。室内楽を辻功、山根公男、岩花秀文、渡部亨、荻原清次の各氏に師事。また、ジェローム・ギシャール、セリーヌ・モワネ、シュテファン・シーリ、ドメニコ・オルランド、ヨハネス・グロッソ各氏のマスタークラスを受講。



ヴァイオリン 丸山 倫代

神奈川県出身。幼少の頃より母親からピアノの手ほどきを受け、5歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。

第8回かながわ音楽コンクール中学生の部入選。第5回日本クラシック音楽コンクール全国大会高校の部第3位(1、2位なし)。第50回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部奨励賞。第2回大阪国際音楽コンクール入選。2001、2002年にソロリサイタルを開く。

これまでにヴァイオリンを塩川庸子、故堤清、恵藤久美子の各氏に、ピアノを井上敦子、故原田玲子の各氏に、室内楽を山口裕之、江戸純子、久保陽子、加藤知子、雨田のぶ子、小澤英世の各氏に師事。2002年、山形交響楽団入団。



ヴィオラ 田中 知子

宮城県第二女子高等学校卒業。高校2年生の時、仙台ジュニアオーケストラ入団と同時にヴィオラを始める。武蔵野音楽大学卒業。

ヴィオラを故ウルリッヒ・コッホ、磯良男、梅田昌子の各氏に師事。

2000年山形交響楽団入団。2003年、単身ウィーンへ行き、ジークフリート・フューリンガー氏に師事し、その後も度々渡欧し、トビアス・リー氏にも師事した。

2014年、アフィニス音楽祭参加。山形交響楽団の活動の傍ら、室内楽の活動にも力を入れている。



チェロ 渡邊 研多郎

埼玉県出身。東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校を卒業。在学中、アジアユースオーケストラに合格。甲斐ミュージックフェスティバルに参加し、室内楽で最優秀賞。日本クラシック音楽コンクール全国大会にて第2位(1位なし)を受賞。

2001年よりチェコ、プラハ音楽院に留学しチェコ国内の数々の音楽祭に参加。プラハシンフォニー交響楽コンクールにて上位入賞。イタリアにてパドヴァ国際音楽コンクールで弦楽、ヴィルトゥオーゾ、総合の各部門で1位を受賞。ディプロマを取得。チェコ国内ではパロバーオーケストラで首席を、オーボエ四重奏(トゥリーアンサンブル)のチェリストを務めた。2005年より山形交響楽団に入団。アフィニス夏の音楽祭に参加。国内外でリサイタルや室内楽の活動のほか山形チェロアンサンブル「オ・セロ」やアマチュアチェリストの指導を行う他、宮城学院女子大学にて後進の指導にあたっている。これまでにヴァーツラフ・アダミーラ、ダニエル・ラクロワ、植草ひろみ、河野文昭、ミロスラフ・ペトラージュの各氏にソロを、ヨゼフ・ハーラ、カレル・ドレジャール、ミハル・カニユカの各氏に室内楽を師事。

東の杜に響く、フォーボウの調べ——

フォーボウはヴァイオリンによく似たオリジナル弦楽器。2010年に手作り楽器の制作や演奏を行う「木と音の会」代表の泉谷貴彦氏によって作られ、東根市に寄贈されました。

樹齢1500年以上とされる国指定天然記念物の大けやきと、生産量日本一を誇るサクランボの枝を組み合わせて作られたフォーボウは、まさに東根を象徴する楽器と言えるでしょう。そんなフォーボウの音色を、今回も山形交響楽団の演奏と共にお送りいたします。軽やかで美しい、悠久のしらべをぜひお楽しみ下さい。

